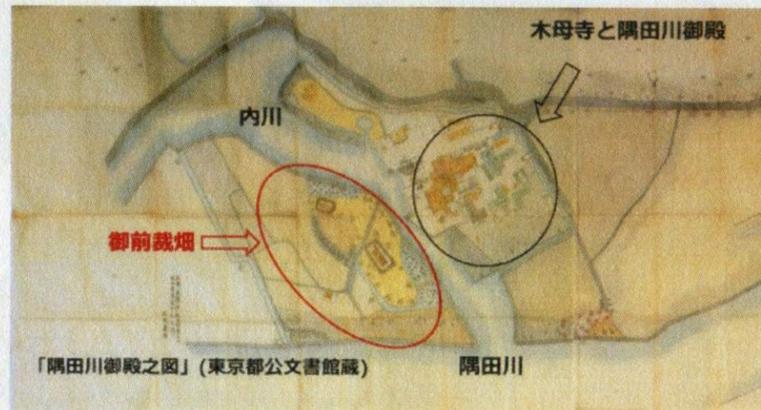


御前栽畑（おせんざいばた）とは

江戸時代に将軍家が食べる野菜を育てていた畑。
防災用地として遊休地になってる墨田区北部の隅田川沿いの公園が
「御前栽畑（おせんざいばた）」であったことが特定されています！

江戸



歌川広重が描いた浮世絵
「木母寺内川御前栽畑」

今昔の地図を重ね場所を特定！



令和

《この歴史的唯一無二場所だけど、新たな用途が…
 「地域要望であるスポーツ、リクレーション活動の充
 実及び防災対策に資する活用」
 そこに『江戸東京野菜の博覧会』新たな提案を！ 》



このエリアだけでも提案しよう！



「防災対策」に欠かせないコミュニティ醸成の
 手段に！
 多世代が楽しめレクリエーションに『ほたるの
 里』を！
 都内各区との交流の場となる『江戸東京野菜の
 博覧会畑』御前栽畑の再現！